

令和元年度事務事業評価シート(平成30年度実績)

◎基本情報

事務事業名	地球温暖化対策実行計画推進事業		担当部署	市民環境部 環境局 環境政策課		
総合計画体系			根拠法令 計画など	地球温暖化対策の推進に関する法律、第4次鳴門市地球温暖化対策実行計画、鳴門市環境基本計画		
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり	事業期間	開始	平成	13年度
政策(中項目)	2	快適に暮らせるまち なんと			終期	~令和2年度
(小項目)		エネルギー使用				
施策	7	地球温暖化・省エネ対策の推進				
基本事業	2	地球温暖化・省エネ対策の率行的実行				

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理 鳴門市民、鳴門市役所、学校等						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	電気や燃料の使用量を削減し、温室効果ガス排出量を削減していく。						
事業計画	30年度に何を計画していたか	「第4次鳴門市地球温暖化対策実行計画」に基づく施策として、全庁的にクールビズ・ウォームビズ等の推進、ならびにエコ推進員を通じて省エネ対策の徹底を図る。また、緑のカーテンコンテストの開催や、広報などを活用した啓発活動に取り組むことで、市民の節電に対する意識向上を図る。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	単位
		温室効果ガス排出量(二酸化炭素換算排出量)	20,610.7	20,610.7	20,610.7	20,610.7	20,610.7	t

◎実施結果(DO)

事業実施内容	30年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	平成32(令和2)年度までの取り組みを定めた「第4次鳴門市地球温暖化対策実行計画」に基づき温暖化対策に取り組んだ。市役所内でのクールビズ・ウォームビズ等を推進するとともに、エコ推進員を通じて省エネ対策の徹底を図った。また、市民や学校、施設等へのゴーヤ苗の提供、緑のカーテンコンテストの開催等、温暖化防止への取り組みを行った。更にホームページに29年度の計画実施状況を掲載する等、市民や事業者の方に対する節電意識の啓発にも取り組んだ。					
事業実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他					
指標名		29年度実績	30年度実績	元年度目標	2年度目標	3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1 電力使用量	21,953	21,462	21,400	21,400	21,400	千kWh
	2 温室効果ガス排出量(二酸化炭素換算排出量)	19,631.8	19,518.9	20,610.7	20,610.7	20,610.7	t
成果指標 対象にどのような効果があったかを示す指標	温室効果ガス排出量(二酸化炭素換算排出量)	19,631.8	19,518.9	-	-	-	t
	目標達成率(実績/目標)		105.5	-	-	-	%
今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況		計画どおり			

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成30年度	当初予算額	0	0	0	0	91	91
		補正予算額	0	0	0	0	0	0
		繰越予算額	0	0	0	0	0	0
		全体予算額	0	0	0	0	91	91
		決算額	0	0	0	0	70	70
		繰越額	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員(7,321千円/人)	臨時職員(2,125千円/人)		総人件費		総事業費	
		0.4	0.5		3,991		4,061	

事業費推移	年度	29年度決算	30年度決算	元年度	2年度	3年度
	事業費	77	70	91	91	91
	うち一般財源	77	70	91	91	91
	人件費	4,140	3,991	3,991	3,991	3,991
	総事業費	4,217	4,061	4,082	4,082	4,082

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		温室効果ガス排出量削減のため、緑のカーテンやクールビズ・ウォームビズ等の各種取り組みを実施した。
	効率性	B:概ね効率的だった		各所属におけるエコ推進員との連携により、効率的に各種取り組みを実施した。
②成果に対する評価	指標名	温室効果ガス排出量(二酸化炭素換算排出量)		各所属におけるエコ推進員との連携により、節電やクールビズ・ウォームビズ等温室効果ガス排出量削減に取り組むことで、電力使用量は前年度より削減し、温室効果ガス排出量も目標値を達するすることができた。
	目標	20,610.7	t	
	実績	19,518.9	t	
	評価	A:目標を達成できた		
③総合的な評価		A		昨年度に引き続き、成果目標の達成ができ、今後もさらなる温室効果ガス排出量削減に向けて、節電やクールビズ・ウォームビズ等の取組を進めていく。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	地球温暖化対策を進めるには、常に市役所内各課との連携や協力が必要となる。また、地球温暖化対策促進にあたり、使用機器の改善など費用面での問題が大きな課題となってくるが、有効かつ実行可能な施策を検討していくことが必要である。さらに市職員が率先して節電等環境に配慮した行動をすすめていくことにより、職員自身の意識啓発に取り組みながら、市民・事業所等の団体にも自主的な取り組みを促していく。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	R1年度	「第4次鳴門市地球温暖化対策実行計画」に基づく取り組みを推進することで、地球温暖化対策に市民とともに取り組んでいく。			
	R2年度	「第4次鳴門市地球温暖化対策実行計画」に基づく取り組みを推進することで、地球温暖化対策に市民とともに取り組んでいく。 「第5次鳴門市地球温暖化対策実行計画」(計画期間:令和3年度～令和7年度)の策定に向けた調査・検討を行い、同計画を策定する。			